

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

15382

図書館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	図書館費		
	大事業	図書館事業		
	中事業	図書館管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画	第2次和歌山市子供読書活動推進計画、第2次教育振興基本計画		
事業年度	令和2年度～	担当課・担当課長・Tel	読書活動推進課	井上豊英	435-1165
事業実施の根拠法令	図書館法、和歌山市民図書館条例	関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 図書館サービス事業を実施し、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。		全体事業概要 市民の教育と文化の発展に寄与するため、図書館法第3条に定める図書館サービスの事業を実施するための経費			
	事業内容	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	0	0	393,331	402,776	388,738	0	388,738	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△1.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	0	0	0	29,141	28,664	23,648	0	23,648
	正規職員以外	0	0	0	0	0	1,537	0	0	0
	小計	0	0	0	0	29,141	30,201	23,648	0	23,648
国庫支出金	0	0	0	0	390	14,367	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	6,733	23,694	5,882	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	386,208	364,715	382,856	0	388,738	0
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	3.66	3.60	2.97	0.00	2.97
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.48	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	令和2年度当初予算：和歌山市民図書館に係る指定管理料334,392千円、和歌山市民図書館新コンピュータシステム賃貸借契約41,322千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
和歌山市民図書館本館の蔵書数		冊	目標値			600,000	600,000	600,000
			実績値			483,188		
			達成度(%)	%	%	81%	%	%
市民1人当たりの貸出資料数(コミュニティセンター図書室を含む)		冊	目標値			7.5	7.5	7.5
			実績値			4.6		
			達成度(%)	%	%	61%	%	%
和歌山市民図書館本館の来館者数		人	目標値			1,000,000	1,000,000	1,000,000
			実績値			663,496		
			達成度(%)	%	%	66%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>平成31年度に、和歌山市民図書館が南海和歌山市駅前に移転し、指定管理者制度を導入したことにより、来館者が171,399人（平成30年度）であったところ、663,496人（令和2年度）に増加している。さらに貸出冊数や貸出者数の増加を目指す。</p>
見直し・改善内容	<p>指定管理者と連携し、さらなる来館者の増加を目指して新規利用者を呼び込むための行事を計画する。また、既存の利用者に対しても蔵書構成を充実させることにより、利用の定着を促す。</p> <p>和歌山市民図書館本館は滞在型図書館の一面もあり、館内で読書や学習する市民が増えているため、貸出資料数の目標指標以外の指標設定の検討も必要。</p>